寺崎組新聞
第百二十二号
発行所　寺崎組新聞社

天竜組会 前ノリ石原商店編

第１５７回組会報告

時は平成２７年３月２０日、組会前日、赤貧さんのお誘いでうなぎさんのバイク屋「石原商店」の開店祝いに参加させていただくことになりました。名古屋で新幹線から快速に乗り換え岡崎まで、愛知環状鉄道線大門駅から東へ出て徒歩７分ほど線路沿いに歩き、角を右に曲がるとすぐに石原商店がありました。店に着くと、うなぎさんは大家おばあちゃんの自転車に空気を入れておるところでありました。なんか徳島組会で神山にあるＡＢＣショップのおばばに柿を貰って、美味そうに食っていたうなぎさんを思い出しました。なんかほっこりしますね。そんなうなぎさんにお願いしたのが、ＸＲ４００Ｒ。れーさーです。今日はバイクの受け取りも兼ねていたのです。

ＪＩＪＩＣＵＢ赤貧さん到着後、軽トラにＤＲを積んだ組長もやってきました。「掃除するよ」２階の部屋に軽く掃除機をかけ、準備ばんたん、寝床を確保するのは野宿も同じです。明日は仕事で組会不参加の残念なＪＡ１２乗り蹴りバハさんも来て、もういいかもしれない、もういいころだろうよ、もうはじめなきゃ、と待ちきれない組長をなだめつつ、午後６時半、宴会は店のど真ん中に大きなテーブルを広げて始まるのでした。私は組での野宿地以外での宴会は初めてでしたが、少しふつーと違うのは、テーブルの上に板とストーブが乗っかり、煮炊きが始まること。楽しいひとときと。おそくは１０時半ごろまでお客さんがみえていましたが、組長は率先して愛想よく御接待をされておりました。いつもは早く寝付く私ですが、夜半近くまで話していたようです。

店内は居酒屋にハンシーン飲み会です

石原商店前　うなぎ屋ではない。

翌日、組長はデポ地へ先行、赤貧さんと組会集合地の遠鉄ストアにむけ出発、そして到着。参加者は、組長、アベさん、オガタさん、カバさん、ゴ三浦さん、赤貧さん、地下鉄さん、村松岡さん、山田石油さん、ロッカーさん＆私の計１１名。

さて出発。まだまだキック始動に慣れない私、今回の組会で最初に飛び込んだ林道は、昨年９月の台風一過、国土地理院の地図９枚を手にＪＢ２３で林道散策、一番荒れていたあの林道、このバイクに慣れるまではあそこには行きたくないなあと昨日から考えていた両島上野線から分岐するあの林道。そんなこと思っているから案の定、ビビッて開けきれず失速、立ちごけ、カバさん達に助けてもらって起こし、キック、キック、キック・・・・練習したんだけど大汗かきました。皆さん、その節はたいへんご迷惑をおかけしました。

こんな時は野宿地に着いたふうだとほっとします。春になり、日が長くなったことを感じながら、こうして好きなことができて、暮れていく一日がありがたいなあ思うんです。

記　りょうふう

天竜組会後編

・大転倒で幕開け…

今回の組会はＫＬＸ１２５５で参加した。Ｒ２０～Ｒ１５３～Ｒ１５１のルートを選び、集結地まであと３０分、県道９号を走っていた時の事、緩い左カーブでいきなりリヤが流れ大カウンター。しかしカウンターの限界を超え、見事に大転倒してしまった。６０～７０kmメーター／hは出ていただろうか？滑ったバイクは対向車線を余裕で超え、側溝にハマってようやく止まった。何故？確かに路面はウエットだったがマンホールを踏んだ訳でもなく、グリップを失うほどバンクさせていた訳でもない。バイクの損傷はというと、ハンドルがグニャリ、左スイッチボックス破損、左ミラー割れ程度。何故かウインカーや外装は全く無傷であった。とりあえず応急処置をして集結地に向かった。

・無事集合！

毎度の事ながら、集結地で荷物を積んだオフロードバイクを見ると何故か安心する。一般人からすれば、汚物の様にしか見えないだろうが…。でも四半世紀ほど前は、組長の影響かどうかは知らないが、同じ様なバイクをそれなりに見た。しかし現代ではテントを積んで林道を旅するという文化自体、廃れてしまった様に思う。前置きはこのくらいにして、今回の参加者は組長、赤貧、カバ、地下鉄、ゴ三浦、涼風、オガタ、村松岡、山田石油、ロッカー（各敬語略）、阿部の総勢１１名。早速買い出しを済ませ、いざ林道へ…。

・油が湧き出る路面？

買い出しを済ませた後は、言わずもがな斜めザック状態。さらに転倒で曲がったハンドルと相まって非常に乗りにくい。スーパーを出てすぐに行方不明者数名。携帯で連絡を取り合い無事に合流。組会といえど、「文明の利器を皆使いこなしているな…」と感じた。林道に行き着く途中の舗装路で、ウエットでもないしコケでもない茶色の路面で又してもズルッ！。？？？転倒こそ免れたものの、その場面を後を走る地下鉄氏に見られ、天竜のこの地域は路面に油が湧き出ているという事にこじつけた。そうすれば最初の大転倒もうなずける。

地下　アベ　ゴミ　カバ　村村　オガタ　涼風　宴会　ロッカー　山田石油

まがったハンドルと曲がったミラー

・いざ、宴会！

何処をどう走ったかは割愛させて頂くが（↑正直、解らない…）、とある林道の行き止まりの広場が今宵の野宿地となった。一同が、日々の生活の様にテキパキとテント設営、宴会準備に勤しむ。そして「乾杯ぁ～い！」。まさに至福のひとときである。時事ネタで盛り上がる中、早速つまみが回りだすが、最初はすぐ食べられる系。皆が腕を振るったつまみが回りだす頃には軍事ネタか鉄道ネタ、そして歌。でもこの数年は、病気ネタや通院ネタが増えた様に思う。組会に初めて参加させて頂いて２０年以上経過したが、やっている事は変わりなくても、皆しっかり歳を重ねていると痛感する場面でもあった。

・オマエには言われたくない！

再び林道に入り大休止。最近では何かにつけて時間調整の休憩が多い様に思う。ここぞとばかりに、スイッチボックスを破損してヘッドライトが点かなくなったＫＬＸを、電気科卒の地下鉄氏に直してもらう。さらに林道を進むとカモシカに遭遇。我々もバイクを停め、物珍しそうにカモシカに見入る。すると、決して美男とは言えない誰かが「カモシカはウシ科だから不細工なんだよな～」と言い放った。それを聞いていたカモシカ氏は絶対に「オマエには言われたくない！」と思ったに違いない！。さらに行くと眺めの良い広場。フライングの１１時３０分、ここで昼食と相成った。

・林道迷走？

昼食大休止の後、一旦山を降りる。食彩広場東栄店にて買い出し。再び山に入る。ここ近年、組長が軽トラでバイクを運ぶ様になってから、組会に於いて大移動は無くなった様に思う。「旅は移動してナンボ…」という向きには物足りないであろうが、組長なりの苦慮が伺える。大移動こそしていないものの、同じ林道でもアプローチを変えてみたり…。今回も同じ分岐を、逆方向から走ってきたというポイントが何箇所かあった。今宵の野宿地はというと以前に行った事がある場所らしい。本日戦線離脱する山田石油氏は、山葵採りに興じている。テントを張り、宴会準備が整った所で採れたての山葵の差し入れ。何とも心憎い計らいではないか！

1泊目野宿地　林道終点です。

・それでも朝はやってくる…

二日酔いも無く、爽やかな朝を迎えた。ラジオ体操などを聞きつつ、各自朝食の準備に取り掛かっている。一部の人間は朝からアル○ール摂取。自分はというと、転倒で曲がったハンドルの修復を試みた。幾分戻った様だが、最後に組長の怪力をお借りして修復作業終了となった。朝食の後は朝の儀式。テント撤収と焚き火の消火、写真撮影。そして清々しい空気の中、出発。暫く走ると、橋の部分でコンクリート舗装中。通行止めであったが幸いに固まっていたので、コンクリートの上を堂々と通過させていただいた。さらに途中の沢で水汲み休憩。

・偉大なるワンパターン！

バイクで山に入る。そして焚き火を囲み、一同が輪になっての宴会。時折新人が入ってくるものの、皆いつものむさ苦しいメンツ。いったい何が良くてこんな事を続けるのだろうか？皆、社会や家庭でそれなりの役割を持ち、何処か疲れを感じているのは否めない所。その現実からほんの一時逃避する、心の拠り所となるのが我々にとっての組会だと思う。さらに個人的には、何でも本音で話せるメンツでもあると思っている。例えワンパターンであっても、どうか組長この素晴らしい組会を、出来る限り永く続けていける様、改めてお願いして今回の報告の締めくくりとしたい。

記　アベ

天竜組会一人一言

●４人で迷子になっちゃった～。（赤貧）

●天気が良くて良かったですが、立ちこけ左右、たいしたことない所で、転けました。体力の無さにガッカリでした！（オガタ）

●いつもの遠鉄ストア、いつもの野宿地、雨にも降られず。きっと記憶に残らない組会に…（地下鉄）

●村松岡さん、今回もカブを貸していただき、また、ライフのドアをもらった上に交換もさせていただき、さらに工場に泊めていただき、本当にありがとうございました。（ゴ三浦）

●初のＬＣ４での組会でした。有り余る馬力に振り回される以外は素晴らしく快適。もっと精進しないとバイクに見限られそうです。（カバ）

●ツルツル舗装路で崖に向かって逆ハン切ってたオザキさんはただノンダクレではありません。（村松岡）

●夜中の雷雨、テントのありがたみを久しぶりに感じました。（ロッカー）

バイク修理
新車販売・わがままな要望
何でも聞きます
石原商店
0564-64-6869
大門駅から徒歩
なぎの店（定食はやってません）in岡崎